



さくらんぼだよ

10月号

平成29年10月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリー保育園

温かなまなざしの中で育つ心

西多賀チェリー保育園の園庭は今まさに秋色でいっぱい。ピンクや赤紫色のコスモスに混じってキバナコスモスが風にゆらゆら揺れ、そこに隠れるように真っ赤に熟れたほおずきがひっそり実をつけています。昔はこのほおずきの中の実をだして、笛にしてよくあそんだものですが、今では草花であそぶという姿もあまり見られなくなり、自然のものであそぶことも伝えていかなければと思っています。

そして、子どもたちは、のはらまつりをきっかけに、体を動かして遊ぶことがより一層大好きになり特にスイミー組の子どもたちは、自分たちで編んだ“縄”ということもあり、縄跳びに夢中になって友達と一緒に楽しんでいます。長縄跳びでは、入るタイミングのコツをつかんだ子どもたち…。♪ゆうびんやさ～ん、おとしもの ひろってあげましょ1まい2まい……。♪と歌に合わせて何回飛べたか競い合いながらも楽しみながら跳んでいます。数をしっかり数えることができるようになり、子どもたちの顔は、毎日喜々としています。また、スポーツクラブのボール遊び教室で毎週サッカーを楽しんでいる子どもたちもいて、何でもおにいちゃん、おねえちゃんたちのまねっこがしたい小さなクラスの子もたちはその影響を受けてなのか、サッカーのまねっこでボールを蹴ったり、追いかけたりしながら、ボール遊びを楽しんでいます。

今の時代、テレビ、ビデオ、そしてスマホ等といった電子機器を使って遊ぶことが多くなり、その影響が取りざたされています。周囲に無関心になったり、興奮はあっても感動する心が失われたりと、そのデメリットは測り知れないものがあるように聞いています。

かつて日本小児科医会からは「スマホに子守りをさせないで」というポスター記事が出されたと聞いています。子どもは周囲の人たちの温かなまなざしの中で優しく、時には厳しく語りかけられたり、また一緒に遊んだり、様々な体験を通してこそ感動し、人間としての心が培われていくのではないかと思います。子ども達は、本来外で遊ぶのが大好きです。思いっきり身体を動かして、とことん遊びこみ、そして小さい子はおにいちゃん、おねえちゃんたちのまねっこをし、小さな発見に驚いたり喜んだり、仲間と共感し合ったりしながら日々、人として成長をしているのではないかと思います。自然いっぱいの中で人と触れ合って過ごすことはとても大事な事と思います。11月には「おはなしの広場まつり」があります。昔話を聞いたり人形劇、紙芝居などで、語ってもらう心地よさを実感できるのではないかと思います。便利な時代だからこそ、こうしたことを通して人の心を忘れないようにしていきたいと思っています。

2017・10・1 園長 中館 和子

お知らせ



<世代間交流・芋煮会&球根植え>

日 時 10月27日(金) 9:30~12:30

おじいちゃん、おばあちゃん達と一緒に豚汁を作って食べます。また、来年春に咲く花の球根を子ども達と一緒に植えたいと思います。詳細は、後日お知らせ致します。

<内科健診>

10月26日(木) 15:00~園医(松本先生)による健診です。当日、欠席された場合は後日、保護者の方と松本小児科に行って頂くようになりますので、なるべくお休みをしないようお願い致します

<おはなしの広場まつり&バザー>

日 時 11月11日(土) 9:00~13:00

場 所 西多賀チェリー保育園 2階ホール

* ボードビル人形劇、お話し会等お楽しみが沢山あります。また、「絵本について」の講演もあります。皆さんお誘いあわせておいで下さい。

おねがい

* 季節の変わり目は体調を崩すことが多くあります。お休みの日はなるべくゆっくり過ごすようお願い致します。

行事予定

| 10月 | | |
|-----|----|----------------|
| 日 | 曜日 | 行事 |
| 5 | 木 | 布団丸洗い消毒のため布団回収 |
| 13 | 金 | 親子遠足 |
| 17 | 火 | 誕生会 |
| 18 | 水 | 避難訓練 |
| 20 | 金 | のはらまつり反省会 |
| 24 | 火 | スイミー組園外保育 |
| 26 | 木 | 内科健診 |
| 27 | 金 | 球根植え・いも煮会 |

| 11月 | | |
|-----|----|-------------------|
| 日 | 曜日 | 行事 |
| 7 | 火 | 総合避難訓練 |
| 8 | 水 | 歯科検診 |
| 11 | 土 | おはなしの広場まつり |
| 14 | 火 | 発育測定 |
| 21 | 火 | 誕生会 |
| 22 | 水 | 防犯訓練 歯科検診(2回目) |
| 24 | 金 | おはなしの広場まつり反省会 |
| 28 | 火 | 焼き芋会 |

考えてみましょう 子どもにとっての幸せ



2017・10・1

つい先日、生れたばかりの赤ちゃんが泣きやまないという事で、実の父親から暴行を受け脳への後遺症が心配されている、というとても考えられないような事件がニュースで報道されていましたが、正に今の社会状況そのものかな？と思ってしまいます。
核家族の中で、赤ちゃんに限らず、子どものイヤイヤやグズグズに対応しきれず、心身共に疲れてくると、つい、イライラがつのり、声も荒げてしまふ・・・、そんなことが悲惨な事件へとつながっていったのではないかと思います。
赤ちゃんは何かにつけて泣きます。そして、何かにつけておかあさんやおとうさんを困らせ、心配させながら大きくなっていきます。
でも、その心配や困り感をそばで分かってくれる人がいると、イライラや怒りも少しは緩和され子どももしっかり向き合うことができるようになるのではないかと思います。どんなに小さな子どもでもこれは同じ。兄弟同士、あるいは友達同士遊ぶ中では、楽しいことを経験しながらも我慢したり、譲ったりすることもあり、また、反面、自分の意を通そうとするあまり、喧嘩などのトラブルになってしまい、悔しかったり、悲しい気持ちになってしまうこともあると思います。そんな時、私たち大人が、自分の気持ちを分かってもらいどこかホッとすると同じように、子どもだって気持ちを丸ごとありのまま受け止めてもらえたなら、きっと今以上に幸せ感を持つのではないのでしょうか。思いやりは身近な人と共に育つと児童精神科医の佐々木正美先生の著書にありました。相手(おかあさん)と一緒に喜んでもらえることで、子どもの喜びは深まり、同時に悲しみも分かち合えるようになるともありました。子どもたちが人を信頼し、安心して過ごせるよう、身近にいる私たちが一人一人を愛し、その心地良さを感ぜられるよう保護者、そして、地域の皆様と共に子育てをしていきたいと思ひます。



母と子の 絵本棚



「14ひきのおつきみ」

出版社：福音館書店 いわむら かずお 作・絵
14匹のおずみたちが高い木の上に作ったお月見台。ススキをかざり、月見団子をお供えする・・・お月見の風習を知ることができるとともに、自然と共存する美しい日本の秋の自然がいっぱいの絵本です。



「いちじくにんじん」

出版社：福音館書店 ごんもり なつこ：絵
子どもたちにはまだ、見たこともないような食べ物もでてくるかぞえうた♪いちじく にんじん さんしょうに しいだけ・・・♪数がわからなくても、こういう食べ物もあることを伝えながらお子さんと一緒に唱えて楽しんでください。

「子どもについて」

ハリール・ジブラーン の詩より

あなたがたの子どもたちは
あなたがたのものではない
彼らはいのちそのもの
あこがれの息子や娘である

彼らはあなた方を通して生れてくるけれども
あなたがたから生じたものではない
彼らはあなたがたと共にあるけれども
あなたがたの所有物ではない

あなた方は彼らに愛情を与えうるが
あなた方の考えを与えることはできない
なぜなら彼らは自分自身の考えをもっているから

*この詩はほんの一部ですが、ある本に掲載されました。とても感慨深いものがあり、ご紹介しました。

わらべうたであそぼう



チュッチュッコッコとまれ
(スカーフあそびです)



何度かくり返し、終わるときに



- ① チュッチュッコッコ
左右にスカーフを振ります

左右に
振ります



- ② とんでけー！
口で息を吹きかけて子どもに
かけてあげましょう

